様式A－74

ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI プログラム概要

研究機関名	東京工業大学				
プログラム名	目で見てわかる昔の日本語と今の日本語: タイムマシンに乗らずに行ける昔の世界				
先生（代表者）	山元 啓史 （やまもと ひろふみ） リベラルアーツ研究教育院・教授				
自己紹介	大学卒業から今までずっと外国人に対して日本語を教えてきました。教えているうちに「ことばはどんな形をしているのだろう」と思い、言語学を勉強しはじめました。いろいろなことばを知りたくなって、アメリカとオーストラリアに留学しました。世界のことばと日本のことばを比較したり、昔のことばがどうして今の形になったかを調べたりするようになりました。ことばは誰もが使える楽しい宝物のように思います。さあ、みんなでことばについて話しましょう。				
開催日・募集対象	①令和3年12月26日（日） ②令和3年12月27日（月）	受講対象者	① 小学5,6年生 ② 中学生	募集人数	① 10名 ② 20名
集合場所・時間	東京工業大学 西講義棟1 レクチャーシアター	（集合時間）	9:50		
開催会場	東京工業大学大岡山キャンパス 住所：〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 西講義棟1 レクチャーシアター アクセスマップ URL：http://www.titech.ac.jp/maps/index.html				

内　　容

ことばは時代につれて変化します。私たちの知っていることばの意味は、昔の意味とはまったく同じではありません。もしタイムマシンに乗って昔の日本語が聞けたなら「あれぇ～何か変だ！違うぞ？」と思うことでしょう。大昔の録音は残っていませんから、昔のことばがどうであったか、実際に聞いてみることはできません。しかし、昔の文章からことばの使われ方を図に描いて見ることはできます。そんな「目で見てわかる昔のことばの世界」についてみんなでいっしょに勉強します。実習では、タブレットを使って、自分で図を描いて分析してみましょう。自分の図と他の参加者の図を比較して意見交換をし、レポートとしてまとめる方法についても学びます。大学院生の発表も聞いて、それをまねして、参加者みんなで簡単な研究発表を行ってみましょう。

持ち物	特記事項
筆記用具 マスク ハンカチ 水筒	・寒いので暖かい服装で上着などをご用意ください。 ・マスクを装着しての受講になります。 ・ご自身の飲み物はご持参ください。 ・参加者同士の間隔を広く保てるように本館の広い講義室を用意しています。小学生の参加者は保護者のご同伴お願いいたします。 ・ウイルス感染防止のため、ごみ袋の持参をお願いいたします。 ・応募多数の場合には「志望動機」で選考いたします。コメント欄に「志望動機」を必ずお書きください。 ※新型コロナウイルスの状況で中止・変更の可能性があります。

スケジュール

09:50～10:00　受付（大岡山キャンパス　西講義棟 1　レクチャーシアター集合）
10:00～10:20　開講式：あいさつ、科研費の説明
10:20～11:00　自己紹介: 参加者、ご父兄の皆様、山元研究室学生
（終了後 15 分休憩）
11:15～12:00　講義: ことばの意味を図で見る仕組み
12:00～13:00　ランチタイム: サンドイッチがでます。
13:00～14:00　実習: コンピュータで自分のネットワークを描こう。
14:00～15:00　休憩: クッキータイム
15:00～16:00　お散歩: 鳥人間コンテストのマイスターを訪問しよう！
16:00～16:40　発表会: みんなで意見と感想を述べよう！
16:40～17:00　修了式: アンケート記入、未来博士号授与、写真撮影
17:00　終了・解散: お疲れさま。
（小学生、中学生　とも同じスケジュールで行います）